冬支度

庭木まとっていた緑　　脱ぎ捨て
厚手のあったかい靴下　　引っ張り出し
そっと襟を立ててすする　マグカップ
熱いラテの湯気が　　白く窓をかすめ

これまでに過ごしてきた　今過ごしてきた
賑やかな時が
遠ざかる寂しさの
なかで巣篭もりの準備

ひんやりと
　　ひんやりとした庭の隅の中で
この頬に
　　この頬にあたる次の季節の風

心を澄ませて整えてゆく

重たい荷物を手放して　　そっと
この身も心も軽くして　　そして
残された時間愛おしんで　行くために
勇気を確かに持って　　行こう

これまでに歩んできた
足跡を信じる
訪れる未知の静寂
踏み出す一歩の準備

たくさんの
　　いくつもの長い年月を重ねて
過ぎた日々
　　その後に訪れる静かな孤独

心を澄ませて整えてゆく

厚手のカーテン閉めたなら　部屋の中
揺るぎない灯りがともる　　さあこれから
そこにある冬を迎えに　　行くために
あったかな心を持って　　行こう